

第13回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

1 開催概要

新型コロナウイルス及びインフルエンザの感染拡大防止のため書類による審議を実施。令和5年10月2日(金)に審議資料を配布、令和5年10月20日(金)までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全5名から電子メールまたはFAXにて回答があった。

■出席委員(敬称略)

増山 明 (真岡商工会議所 専務理事)
一ノ瀬 幸人 (真岡市 総合政策部 秘書広報課 課長補佐兼係長)
篠崎 勝美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神 久子 (株式会社アキヤマ観光 取締役)
上澤 宏行 (鶴見建設株式会社 代表取締役)

2 議題

放送番組の審議

3 審議内容

① 審議番組『イブニング!もおか4:00』

放送日時: 令和5年9月22日(金) 16:00~16:45

「令和4年度交通安全作文・標語」16:00~16:30

「FMもおか×FMゆうがお(下野市) コラボ情報番組」16:30~16:40

・FMもおか/パーソナリティ: 佐野久恵(さの ひさえ)

・FMゆうがお/パーソナリティ: 及川隆太郎(おいかわ りゅうたろう)

(委員) 番組の冒頭で、「令和4年度交通安全作文・標語」の入選作品の朗読を行う旨のアナウンスがあったが、主催者や選定方法等についても説明した方が、リスナーに分かりやすいのではないかと。例えば「今回は、真岡市が市内の小学生を対象に実施した「令和4年度交通安全作文及び標語コンクール」において、各小学校からの推薦により入選された作品について、受賞者ご本人から朗読により発表していただきます。どうぞ、お聞きください。」というような感じで。

また、FMもおかと他局とのコラボは、他の地域の旬な情報も得られて非常に良い企画だと思う。パーソナリティ同士のトークも軽妙で、安心して聞くことができた。今回は、FMゆうがお(下野市)との共演であったが、FMくらら(栃木市)、ミヤラジ(宇都宮市)、おーラジ(小山市)とのコラボもお願いしたい。

(事務局) ご指摘のあった番組冒頭のアナウンスについては、今後の参考にさせていただきたいと思います。また、県内のコミュニティFMとの連携も今後深めていきたいと思います。

(委員) 「令和4年度交通安全作文・標語」については、ラジオと自動車は相性が良いので、ドライバーに向けた企画としても非常によいと思います。小学生など新たなリスナーを増やしていく試みとしても評価できます。特に、標語については、CM風にアレンジして繰り返し使っても良いと思いました。技術的には、各個人で異なる音量レベルの調整に苦労されているような部分もありますが、概ね聞き取れたので問題はないと思います。

また、「FM もおか×FM ゆうがおコラボ情報番組」に関しては、隣町の情報は大きなイベントくらいしか入ってこないの、興味を持って聞くことができました。お互いが一人で情報を提供するより、会話の流れができるので、内容がより伝わりやすくなっていると思います。顔の日焼けの話題があったことから、同じスタジオで収録しているのだろうと想像しましたが、ビデオ会議アプリなどを使って同時中継（録音？）できればパーソナリティの負担軽減にも繋がると思いました。

内容については、場所の説明をするときに、互いのリスナーに配慮して情報を加えてみることを提案したいと思います。個人的には下野市山王山ふれあい公園の場所が分からなかったの、なにかヒントがあればなと思った次第です。音肉祭の説明でも、「下野市の人は真岡市役所に来たことないのでは？」と不安がよぎりました。時間も限られているとは思いますが、例えば自動車での経路や、駐車場などの情報を挟んでみると、イメージし易いし、また、互いの町を知ってもらう意味でも良いのではと考えました。

（事務局） 「令和4年度交通安全作文・標語」については、出演児童のことを考慮し、各学校に我々が出向いて収録をさせていただきました。すると、収録場所や出演者本人の緊張などもあり、どうしても音声レベルの統一感に欠けてしまったことは否めないと感じています。我々の収録・編集レベルが低いこともありますが、もし、可能であれば、FM もおかの設備の整ったスタジオで、バランスを取りながら収録できればと考えておりますので、今回は技術的な改善が図れるよう努力したいと思います。また、「FM もおか×FM ゆうがおコラボ情報番組」へのご指摘も、パーソナリティと共有し、さらなる放送のスキルアップを図っていききたいと思います。

（委員） 「交通安全作文・標語」は、毎年1月に、コベルコいちごホールで、交通安全大会で選ばれた小学生が発表してありますが、ラジオで改めて聴けるのは、交通安全意識向上の面でも、とても良い事です。「県内他局とのコラボ情報番組」で、FM ゆうがおの及川パーソナリティとの連携も、新鮮でいいと思います。毎月1回と言わず、増やしてもいいと思います。コミュニティ FM は、市民のラジオであり、緊急防災ラジオでもあり、ラジオの可能性は、まだまだ普遍的でチャレンジにより伸びしろがあります。FM もおかの運営状況も順調のようで何よりです。コロナ禍で中止縮小の行事も、今年から以前の様に開催始めて、益々、生放送のイベントも増えて行くのが楽しみです。これからも、素敵な放送を期待しております。

（事務局） ありがとうございます、地域の人たちの声をお伝えすることで、地域の活性化に繋がれば、コミュニティ FM にとっては望外の喜びです。また、県内の他のコミュニティ FM とも色々な連携ができないか現在模索しております。弊社も開局3年目を迎えますで、益々、地域の皆様に普段使いで聴いていただけるよう精進して行きたいと思っております。

（委員） 入賞者の作文や標語を、まとめて30分の番組にするよりも、1時間程度の番組内の1コーナーとして1日（あるいは1週間）ごとに1~2人ずつ小出しに放送する方が良いのではないかと。聞く方もそちらの方が聞きやすいかと思われました。あるいは、コーナーとコーナーの合間の20秒で標語、番組と番組の合間の5分で作文を放送するなど曲やCMの代替やつなぎとして流すイメージ。今の形では「入選作品をコミュニティ FM で放送する」というのをただ形式だけやっているように思えます。そもそも交通安全意識の向上や啓発を目的として制作された作文・標語だと思しますので、そのために最も効果的だと思われる放送方法を検討してほしいところです。

近隣のコミュニティ FM とのコラボ番組は大変良い企画だと思います。ただ、放送翌日に開催されるイベントを紹介するのは少し急すぎる、市民向けでもそうだが市外の方へ向けならなおさらではないでしょうか？なので、2週間から1ヶ月くらい先のものを案内した方が良くと思います。

(事務局) 「交通安全作文・標語」の番組の放送形態に関しましては、どのようにするのが最善なのか今後の課題として検討させていただきます。今回はまとめて放送しましたが、学校や父兄を含め「いつ流れますか」という問い合わせも多くいただいておりますので、まずはまとめて放送することで、聞いていただくと考えました。ひとつおり何度か流した後は、ご指摘の方法も有効ではないかと感じておりますので参考にさせていただきます。また、イベントの紹介なども時間の余裕をもってお知らせできるようパーソナリティを含め共通認識で進めていきたいと思っております。

(委員) 子ども達が自分の経験から交通安全について感想を話したり、気をつけなければいけない事を啓発するなどの作文をコミュニティ FM で公表するのは良いことだと思います。今は子ども達の親御さんが LINE で情報共有をしていますので「16:00 から放送されているので聞いてみるのも学びになりますよ」という宣伝も必要だと思います。また、FM ゆうがおと FM もおかのコラボも面白いですね。近場の情報が2倍になるので地域の活性化も見込めそうです。FM もおかも FM ゆうがおに行かなければいけないですね。それと、他地域のパーソナリティと絡むのもスキルアップにつながる可能性もあります。最後に一つ要望を出すとすれば、子ども達が話すテンションを聞いていて、子ども達がぎこちないのは当たり前ですが、雰囲気もう少し明るくなる工夫を出来ないものかと思いました。子どもの話す環境や設え側の環境の作り方なのか悩ましいところですね。

(事務局) 収録させて頂いた児童さんの学校関係者の方には、いつ放送するか事前に報告しております。また、SNS などでも出来る限り PR していますが、今後も可能な限り、情報の発信をしていきたいと思っております。なお、子ども達の声をもっと明るくできないものかという、ご指摘は良く理解します。我々としみしても、収録の段階で和やかな雰囲気づくりをしているところですが、なかなか難しいところです。こちらも場数を踏むことで現場感を早く理解できるよう努めていきたいと思っております。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和6年1月9日(火)、14:00～

場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員に書面にて連絡済。

4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FM もおかの放送内で告知(令和5年10月23日)
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載(<https://www.fm-moka874.co.jp/>)